

## 紀 要 論 文

- (1) 木方 正, 宮本郁夫, 岩田寿男, 永井勝幸, 原 千尋, 鵜飼茂夫: 蟬花虫体部の熱水抽出多糖について  
〔岐阜薬科大学紀要, 40, 32-37 (1991)〕
- (2) Akio Osada: Some Remark on the Minimum Modulus and the Distribution of Zeoros  
〔岐阜薬科大学教養科紀要, 3, 1-6 (1991)〕
- (3) 坂 恒夫: ヘーゲルによる科学の総合  
〔岐阜薬科大学教養科紀要, 3, 7-33 (1991)〕
- (4) S. Hino: Sureśvara's Vārtika on *Bṛhadāraṇyakopaniṣad* 1.3 [III]  
〔岐阜薬科大学教養科紀要, 3, 35-90 (1991)〕
- (5) 鈴木智夫: 上海機器織布局の創設過程 (一)  
〔岐阜薬科大学教養科紀要, 3, 107-146 (1991)〕

## 総 説

- (1) 堀 幹夫, 岩村樹憲: オピオイド類と合成エンケファリン類の構造活性相関  
〔Clinical Neuroscience, 9, 613-615 (1991)〕
- (2) 河合 聡, 宇野文二: 高速液体クロマトグラフィーにおける誘導体化反応  
〔岐阜薬科大学紀要, 40, 1-17 (1991)〕
- (3) 藤村吉博, 西尾健治, 西田幸世, 福井 弘, 宇佐美好子, 千谷晃一: von Willebrand 因子  
〔検査と技術, 19, 215-220 (1991)〕
- (4) 藤村吉博, 福井 弘, 宇佐美好子, 千谷晃一: 血小板粘着反応における von Willebrand 因子のドメイン構造とその *in vitro* モジュレーター  
〔臨床血液, 32, 475-480 (1991)〕
- (5) 濱崎哲夫, 永瀬久光, 佐藤孝彦: 有機スズ化合物の環境内動態について  
〔環境保全技術, 2, 1-17 (1991)〕
- (6) 澤田英夫, 原 明, 中山俊裕, 出屋敷喜宏, 篠田道夫: 哺乳動物のジヒドロジオール脱水素酵素  
—多様性および異物と生体内物質代謝における役割について—  
〔岐阜薬科大学紀要, 40, 18-31 (1991)〕
- (7) 江田昭英, 三浦 徹, 森 裕志: 副腎皮質ステロイド剤の免疫抑制作用と抗アレルギー作用  
〔免疫薬理, 9, 36-40 (1991)〕
- (8) 永井博式: 抗アレルギー薬の歴史と現況  
〔Johns, 7, 157-164 (1991)〕
- (9) 永井博式, 江田昭英: ヒスタミン遊離抑制薬の現況  
〔Current Insights in Allergy, 7, 16-19 (1991)〕
- (10) 太田光熙, 太田潔江, 西谷 裕, 林 恭三: ヘビ神経毒と重症筋無力症  
〔神経研究の進歩, 35, 626-640 (1991)〕
- (11) 河野通明: 細胞増殖因子作用における百日咳毒素感受性 GTP 結合蛋白質および C キナーゼの役割

## —シグナル伝達経路にもとづく細胞増殖因子の役割—

〔生化学, **63**, 415-421 (1991)〕

- (12) 河野通明：細胞増殖シグナル伝達における蛋白質チロシンリン酸化反応の役割

〔蛋白質・核酸・酵素, **36**, 1037-1048 (1991)〕

## 著 書

- (1) 堀 幹夫, 岩村樹憲 (分担執筆) : オピオイド—化学物質が解き明かす生体の謎, 化学増刊120号 (化学同人), 141-149 (1991)
- (2) Yukio Kitade, Paul F. Torrence (分担執筆) : Nucleic Acid Chemistry, Improved and New Synthetic Procedures, Methods and Techniques, Part 4 (John Wiley & Sons, Inc.), 354-362 (1991)
- (3) 正木幸雄, 落合正仁 (分担執筆) : 続医薬品の開発, 第13巻, 官能基の保護反応剤 (広川書店), 289-329 (1991)
- (4) 葛谷昌之, 野口章公 (分担執筆) : Trends in Organic Chemistry, Vol.2 (Council of Science Research Integration, India), 73-92 (1991)
- (5) 葛谷昌之 (分担執筆) : Trends in Physical Chemistry, Vol.2 (Council of Science Research Integration, India), 39-63 (1991)
- (6) Y. Kawashima, K. Morishima, H. Takeuchi, T. Niwa, T. Hino, Y. Kawashima (分担執筆) : Particle Design via Crystallization (American Institute of Chemical Engineers), 26-32 (1991)
- (7) 川島嘉明 (分担執筆) : 粉体・その機能と応用 (日本規格協会), 291-298 (1991)
- (8) 川島嘉明 (分担執筆) : 造粒ハンドブック (オーム社), 52-54, 453-461 (1991)
- (9) 鵜飼茂夫 (分担執筆) : 新しい衛生化学, 第4版 (広川書店), (1991)
- (10) T. Nakayama, H. Sawada, Y. Deyashiki, T. Kanazu, A. Hara, M. Shinoda, K. Matsuura, Y. Bunai, I. Ohya (分担執筆) : Advances in Experimental Medicine and Biology, Vol. 284 (Plenum Press), 145-173 (1991)
- (11) 出屋敷喜宏, 鈴木宏治 (分担執筆) : 血液科学シリーズ4, 血液凝固の制御調節機構 (西村書店), 145-173 (1991)
- (12) A. Koda, Y. Yanagihara, N. Matsuura (分担執筆) : Modulation of IgE Antibody Synthesis by a New Drug, IPD-1151T (Advances in Asthmology 1990) (Elsevier), 565-568 (1991)
- (13) 江田昭英 (分担執筆) : 市販の鼻アレルギー薬について (耳鼻咽喉科診療 Q&A) (六法出版), 617ノ6-617ノ7 (1991)
- (14) 永井博式, 江田昭英 (分担執筆) : 抗アレルギー薬 (アレルギーの理論とその展開—新しい概念に向けて—) (医薬ジャーナル), 305-317 (1991)
- (15) 永井博式, 江田昭英 (分担執筆) : 抗ロイコトリエン薬 (喘息 '91) (メディカルレビュー), 151-159 (1991)
- (16) 永井博式, 江田昭英 (分担執筆) : 抗アレルギー薬の現況 (新アレルギー性皮膚疾患—基礎と臨床—) (協和企画), 217-232 (1991)
- (17) 江田昭英, 原田 稔 (編集) : 免疫毒性 (地人書館), (1991)
- (18) 森 裕志 (分担執筆) : 免疫毒性について (免疫毒性) (地人書館), 3-12 (1991)
- (19) Mitsuhiro Ohta, Kiyoe Ohta, Kyoze Hayashi (分担執筆) : Reptile Venoms and Toxins—Handbook of Natural Toxins, Vol. V (Marcel Dekker, Inc.), 349-376 (1991)

- (20) 太田光熙, 林 恭三 (分担執筆) : 新生化学実験講座, タンパク質 V (東京化学同人), 485-498 (1991)
- (21) 林 恭三 (分担執筆) : 新生化学実験講座, 第11巻, 神経生化学 (東京化学同人), 497-505 (1991)
- (22) 花井一彦, 桑江彰夫 (分担執筆) : 薬学の機器分析—赤外吸収スペクトル法とラマンスペクトル法 (広川書店), 61-88 (1991)
- (23) 田中俊弘 (編) : 春日村の薬草 (春日村), (1991)
- (24) M. Sato, M. Kohno, T. Takeya (分担執筆) : Control of Cell Growth and Division (Japan Scientific Societies Press), 161-181 (1991)
- (25) 日野紹運 (分担執筆) : 前田恵學博士頌寿記念 仏教文化學論集 (山喜房), (1991)
- (26) S. Hino & K.P. Jog (共著) : Sureśvara's Vārtika on Udgītha Brāhmaṇa (Motilal Banarsidass), (1991)
- (27) 鈴木智夫 (分担執筆) : 中国現代化論文集—近代中国工業的移植与李鴻章— (中華民国国立中央研究院近代史研究所), 405-416 (1991)

### そ の 他

- (1) 葛谷昌之, 野口章公 : 極超薄膜性プラズマ重合膜の物理化学特性に基づく有機プラズマ複合過程の解析  
〔文部省科学研究費補助金重点領域研究“反応性プラズマの制御”平成2年度研究成果報告書, 198-202 (1991)〕
- (2) 宇野文二, 加納健司, 河合 聡, 後藤正志 : 分析化学の学生実習に関する考察 (第4報), ホルマリンのホルムアデヒドの定量  
〔岐阜薬科大学紀要, 40, 38-40 (1991)〕
- (3) 川島嘉明 : 賦形剤不要の薬物粒子設計を開発  
〔Modern Medicine, 20, 68-70 (1991)〕
- (4) 川島嘉明 : 薬物送達システム (DDS)  
〔Hohsen Journal, 2, 23-26 (1991)〕
- (5) 川島嘉明 : 「AIChE, 1990 Annual Meeting—Particle Design via Crystallization」を中心にして  
〔粉体工学会誌, 28, 331-332 (1991)〕
- (6) 佐野昭光, 栗木武男, 川島嘉明, 竹内洋文, 日野知証, 丹羽敏幸 : 晶析造粒操作における結晶形の制御—  
トルブタミドの結晶多形の生成機構—  
〔粉体工学会誌, 28, 172-176 (1991)〕
- (7) 竹内洋文 : アルバータ大学へ留学して  
〔粉体工学会誌, 28, 52-55 (1991)〕
- (8) 竹内洋文 : 留学を終えて  
〔日本薬剤学会会報, 7(3), 4 (1991)〕
- (9) 竹内洋文 : カナダ, アルバータ大学薬学部にて  
〔日本化学会コロイドおよび界面化学部会 Newsletter, 16(2), 7-9 (1991)〕
- (10) 鵜飼茂夫 : パラコート中毒  
〔Hohsen Journal, 2, 67-70 (1991)〕
- (11) 佐藤孝彦, 永瀬久光 : 生態影響評価試験に関する調査研究—魚類急性毒性試験

- 〔平成2年度環境庁公害防止等調査研究委託費による報告書, 55-62 (1991)〕
- (12) 佐藤孝彦, 永瀬久光: OECD 高生産量化学物質生態影響検討調査—魚類急性毒性試験  
〔平成2年度環境保全総合調査促進調整費による報告書, 65-86 (1991)〕
- (13) T. Sato, H. Nagase: Investigation on the Ecotoxicological Effects of OECD High Production Volume Chemicals (Environment Agency Japan), 67-89 (1991)
- (14) 江田昭英: IgE 抗体の制御  
〔炎症, 11, 527-528 (1991)〕
- (15) 江田昭英: ステロイドと和漢薬  
〔免疫薬理, 9, 107-108 (1991)〕
- (16) 森 裕志, 上杉勇喜, 川田憲司, 張 鵬, 坂本修身, 江田昭英: Bleomycin 誘発肺線維症とマスト細胞  
〔呼吸, 10, 352-359 (1991)〕
- (17) 林 恭三: 痴呆症の成因と早期診断法の開発  
〔学術月報, 44, 72 (1991)〕
- (18) 林 恭三, 庄司浩気, 野元 裕, 高橋禮子, 荒田洋治: シビレエイニコチン性アセチルコリン受容体 (nAChR) の糖鎖構造と機能  
〔厚生省特定疾患免疫性神経疾患調査研究班“免疫性神経疾患に関する研究”研究報告書, 333-337 (1991)〕
- (19) 西谷 裕, 太田光熙, 太田潔江, 市村俊子, 伊藤元彦, 原 宏和, 林 恭三: 重症筋無力症非合併胸腺腫における抗アセチルコリンレセプター抗体と抗筋抗体  
〔厚生省特定疾患性神経疾患調査研究班“免疫性神経疾患に関する研究”研究報告書, 403-405 (1991)〕
- (20) 村瀬勝人, 古川美子, 林 恭三, 古川昭栄, 太田光熙: アストログリア細胞を用いるカテコールアミン及びその関連化合物の神経成長因子生合成促進効果の検索 (第1報)  
〔喫煙科学研究財団, 研究年報, 410-415 (1991)〕
- (21) 村瀬勝人, 古川美子, 古川昭栄, 林 恭三, 太田光熙: アストログリア細胞を用いるカテコールアミン及びその関連化合物の神経成長因子生合成促進効果の検索 (第2報)  
〔喫煙科学研究財団, 研究年報, 416-421 (1991)〕
- (22) 田中俊弘: 三好 學氏の業績 (1)  
〔岐阜県植物研究会誌, 8, 37-41 (1991)〕
- (23) 田中俊弘: 伊吹山南蛮薬草園説の背景—伊吹山の薬草について—  
〔名古屋キリシタン文化研究会会報, 4, 432-345 (1991)〕
- (24) 森 幸雄: 脾における発癌物質の代謝  
〔文部省がん特別研究“脾癌発生の機構解析とその制御に関する研究”研究報告集録書 (平成2年度), 110-113 (1991)〕
- (25) 河野通明: 細胞増殖・分化制御における細胞蛋白質チロシンリン酸化反応の役割  
〔医科学応用研究財団研究報告, 9, 180-188 (1991)〕
- (26) 鈴木智夫: 上海機器織布局をめぐる二・三の問題—通説の検討—  
〔近きに在りて, 20, 65-66 (1991)〕
- (27) S. Hino: Sureśvara's Vārtika on *Bṛhadāraṇyakopaniṣad* 1.4. 1025-1081  
〔東方, 7, 1-20 (1991)〕

# 編 集 委 員

葛谷昌之，木方 正，日野紹運，原 明，  
清水 洋，永瀬久光，加納健司

---

岐 阜 薬 科 大 学 紀 要 第41号  
(非売品)

印 刷 日 平 成 4 年 6 月 30 日

発 行 日 平 成 4 年 6 月 30 日

発 行 所 岐 阜 薬 科 大 学

〒502 岐阜市三田洞東5丁目6-1

編 集 者 葛 谷 昌 之

発 行 者 岐 阜 市 三 田 洞 東 5 丁 目 6-1

岐 阜 薬 科 大 学 内

印 刷 錦 太 洋 社 岐 阜 営 業 所

岐 阜 市 平 河 町 27

---